

平成30年度に向けた教育委員会の施策の基本方針

～とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる「人財」の育成に向けて～

平成29年11月定例会（付託）
文教厚生委員会
教育委員会

I 地方創生から日本創成へ！「徳島ならではの」教育の推進

① 個性、可能性を最大限に伸ばす教育の推進

- 阿南光高校において、高校・大学・地元企業が一体化したキャンパスを創出し、高大接続教育や研究開発・6次産業化教育を推進
- 小・中・高それぞれの発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 特別支援学校幼児・児童・生徒の文化・スポーツ活動の推進、社会的自立に向けた就労支援を充実

② 人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり

- 海部高校において、豊かな地域資源を活かした教育プログラムの確立
- 地方と都市を結ぶ「デュアルスクール」のモデル化に向け実証研究を実施

③ 徳島からの「教育イノベーション（技術革新）」

- 新学習指導要領に対応した小学校のプログラミング教育を推進
- 児童生徒の学力や学習意欲、教員の指導力等の総合的な教育力を向上させるため、教育ビッグデータを分析・活用

④ 災害を迎え撃つ防災教育の推進

- 県立学校の避難所機能を充実させるため、トイレの洋式化を推進
- 高校生の防災士資格取得を支援するとともに、「防災クラブ」の活動を推進



防災クラブ活動

II 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進

① 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

- 鳴門教育大学と連携し「授業改善」等を実施、本県独自の学力調査及び、学習教材作成による学力向上を推進
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等専門家との協働による教育相談体制の充実
- 子供たちの肥満予防・肥満対策・生活習慣の改善に向けた取組の推進

② 未来を拓く教職員の育成

- 教員育成指標を踏まえ、教員のキャリアステージに応じた研修を実施
- 教職員の負担軽減のため、外部人材の活用を推進

③ 学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進

- 障がい者の自立と社会参加を促すため、障がい者の生涯学習活動を支援
- 地域総ぐるみで未来を担う子供たちの成長を支えるため、「放課後子供教室」や「地域未来塾」を推進

④ 時代の潮流を見据えた学びの推進

- 「エシカル消費」推進に取り組む高校生による「エシカルフェス」を開催、活動成果を発信し、「エシカル消費」の普及・啓発を推進
- 特別支援学校において、「エシカル消費」の活動にチャレンジ
- 選挙管理委員会と連携し、主権者意識を高める「主権者教育」の充実

III グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進

① 徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進

- 県内外に地域の魅力を発信するため、文化財の総合活用を推進
- 「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録へ、一層の機運醸成に向けて、普及啓発事業を実施



ドイツ兵の慰霊碑

② 世界に羽ばたくグローバル人財の育成

- 新学習指導要領や新たな大学入試制度に対応するため、「聞く・話す・読む・書く」の英語力を身につけた児童・生徒を育成
- 小・中・高それぞれに応じた、外国人との交流や体験活動を通して、世界を舞台に活躍する人材を育成

③ 国際舞台で躍動するアスリート、アーティストの育成

- 近畿高等学校総合文化祭徳島大会を開催するとともに、中・高生の文化芸術力を育成する取組を実施
- 鳴門渦潮高校専攻実技の強化と、次代を担う中学生を発掘・育成
- 徳島科学技術高校において、「アーチェリー・弓道・ウエイトリフティング」一体型施設の整備・充実



近畿総合文化祭徳島大会
マスコットキャラクター

④ 世界に輝く「あわ文化」の創造・発信

- 新たに、膜構造屋根が設置される文化の森野外劇場において、様々なイベントを行い、広く県内外へPRを実施
- 耐震改修が完了する「城北高校人形会館」を拠点とし、阿波人形浄瑠璃の魅力を県内外に発信



文化の森
「新生・野外劇場」